



3つの安心

①安心・安全なまちづくり

- ▽住民要望のないまちづくりを改めさせます
- ▽若者・学生の家賃補助、高齢者・低所得者などが安心して住宅確保ができるしくみをつくります
- ▽多様な性を認めあい、尊重しあえる足立区をつくります

②福祉・くらし・営業の安心

- ▽生きがい奨励金の復活
- ▽国保・介護保険料の負担軽減
- ▽インボイス制度は中止を求めます
- ▽交通権を保障し、空白地域へコミュニティバスの実現、既存バスの増便をめざします

③子育て・教育の安心

- ▽学校給食費の完全無償化
- ▽公立保育園31園廃止計画を撤回させます
- ▽子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策をすすめます
- ▽医療的ケア児や支援が必要な子どもたちの学びと育ちの環境を改善します

弱い立場の味方！小林ともよさんを応援します！



足立区議会議員
浅子けい子



都議会議員
斎藤まりこ



柳原病院院長
八巻秀人

小林ともよさんは焼き菓子店経営の経験を持ち、働く人の気持ちがわかる人です。原発事故後、子どもが安心できる社会を求めて声をあげた人です。その力を議員になる前から發揮し、給食費無償化の請願行動など、足立区を変えようと大奮闘しています。ぜひ、私に倍するお力をおかしください。



自分のことだけでなく、人のために行動することができる、優しく、正義感の強い小林さんの力が必要です。なんとしても足立区政に押し上げてください。

私たち医療機関は、新型コロナ感染症から地域の方々を守ると同時に職員の安全も確保するため、試行錯誤の連続でした。重症の方が転院できない、また入院できない方がご自宅で亡くなる事態まで起きました。政治の在り方が住民の命に関わることを実感しました。浅子けい子さんから引き継ぐ小林ともよさんに期待します。

<プロフィール>

1973年11月、足立区生まれ
 ●区立鹿浜西小学校・鹿浜中学校・関東国際高校卒業
 ●92年から米国Champlain Collegeへ留学、94年からCollege of Santa Fe（2018年5月閉校）へ編入し、BFA課程修了
 ●家族は夫と子ども2人
 ●仕事はフォトギャラリー・派遣社員・人材系会社で契約社員(1年) 正社員(3年)・焼き菓子店経営を経て全国商工団体連合会事務局員
 ●新日本婦人の会に所属
 ●趣味はお菓子作り・写真・アサート(民族楽器)

足立区から日本を変える

■ 大軍拡と防衛増税はストップ

■ CO2排出実質ゼロの足立区、気候危機打開を

■ 消費税5%減税、賃金が上がる日本へ

■ ジェンダー平等の足立区・日本へ



各種SNS、公式ホームページはこちらのQRコードよりアクセスできます。

区政に挑戦!
あなたの願い
実現に全力。



日本共産党

斎藤まりこ都議秘書 くらし・営業相談室長 区議予定候補

小林ともよ



みなさんに支えられて4期16年、大変お世話になりました。区議会に地域のみなさんの声を届け、足立区を一步一步動かしてきました。

思い起こせば、旧千五小統廃止中止を求める運動や千住一丁目再開発反対の運動で、党派を超えた地域の方々と協同できたことは、私の議員活動の中でも深く心に刻まれています。また、昨年からの物価高騰により、苦しい生活を強いられている区民の状況は深刻です。こうした問題と取り組むとき、いつでも対峙するのが自公政治であり、共産党の議席をもっと大きくしたいと痛感します。

今回、私のバトンを小林ともよさんに引き継ぎつつ、最後まで全力で奮闘する決意です。

足立区議会議員 浅子けい子

消費税5%減税・インボイス中止! 軍事費2倍化NO・憲法守れ!

区民の願い実現へがんばります 小林ともよ

公立中学校の給食費 無償化が実現！

足立区は23年度予算で区立中学校の給食費を無償化すると発表しました。区民と日本共産党足立区議団が、繰り返し要望してきたものが一部実現しました。小林ともよも、「足立っ子給食費無償化ネットワーク」のみなさんと一緒に求め続けてきた一人です。

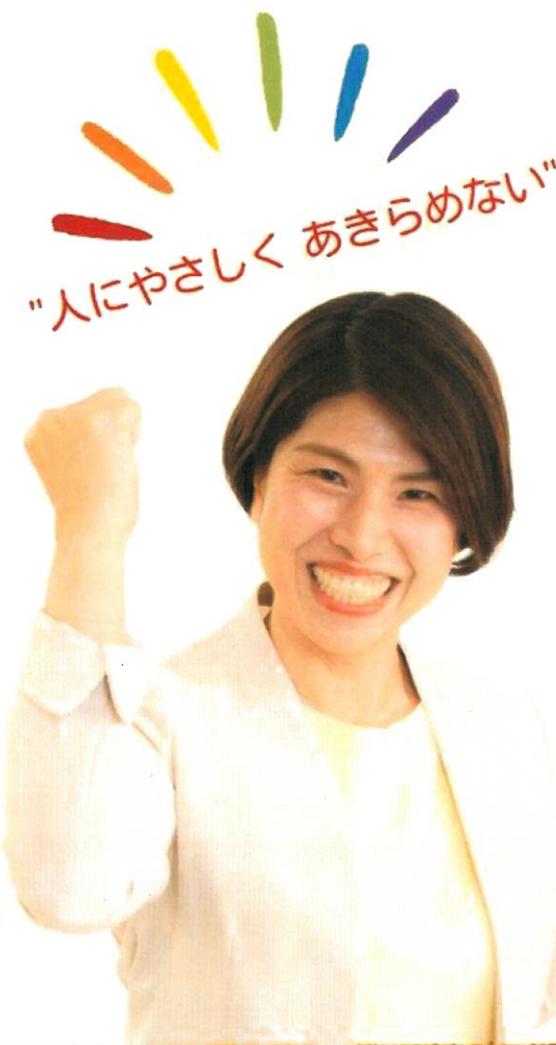
小学校の給食費も無償化を 求めて引き続き奮闘します！

学校給食無償化はこれで終わりではありません。足立区は小学校の給食費無償化については財源を理由に「今日、明日ではない」と先送りしました。足立区には1807億円の積み立て金（全国4位）があります。お金がないわけではなく、本気になればすぐに実現できます。小林ともよは引き続き、学校給食の完全無償化を求めて奮闘します。



2022年10月 文科省へ
学校給食費無償化を推進するよう要請しました。

左から 西の原ゆま予定候補、小林ともよ、吉良よし子参議院議員、斎藤まりこ都議



安全・安心を求めて 現地視察 京成本線荒川橋梁架け替え工事

2023年1月 地域の方と区議団は京成電鉄の担当者、国土交通省荒川下流河川事務所副所長、同事務所の特構推進室（工務課）建設監督官から京成本線架替工事について現地を視察しながら説明を受けました。2022年から葛飾区側から着工しており、2037年に完成する予定です。完成まで16年という非常に長い年月かかる工事です。住民に寄り添った事業になるように頑張ります！



左から 北川区議、小林ともよ、斎藤まりこ都議

生きがい奨励金の復活を！

高齢の方が「楽しみにしていた」と対話による生きがい奨励金をなんとしても復活させます。商店街のみなさんからも復活を求める声があがっています。一昨年の廃止以降、復活を求める1.5万を超える署名が次々と集まっています。日本共産党足立区議団は復活を求める予算要望を提出しています。



小林ともよ（右端）

子ども医療費18歳まで無料化 東京都は4年目以降も10割負担を！



小林ともよ（中央左）

2023年1月、東京都に対して要請行動行ないました。18歳までの医療費無料化は3年間は東京都が10割負担となっています。4年目以降は東京都と足立区で5割ずつ負担することになっていますが、4年目以降も東京都が責任をもって10割負担するよう求めました。他にも補聴器購入制度の拡充や性暴力対策の抜本的強化なども求めました。



ジェンダー平等
包括的性教育は人権教育

2020年9月、自民党的白石区議が「LGBTも法律で守られている」という話になつたら足立区は減ぶ」と発言したことを受け、同年10月、北千住駅西口テッキ上での先進的な性教育を受けた子どもたちの豊かな学びも踏みにじる暴言だと批判しました。



焼き菓子店経営

零細業者の気持ちがわかる

実家は足立区内の酒屋でした。酒類小売規制緩和によって営業が苦しくなったのを目の当たりにしました。私は自身も足立区内で焼き菓子店を経営しました。2019年からは全国商工団体連合会に勤め、コロナ禍で苦しむ中小業者の方々の相談につづきました。幼少期から増税、規制緩和、コロナに無策の政治によって苦しむ人たちに会つてきました。



子どもふたりと

原発事故

放射能から子どもを守りたい

福島で原発事故が起きた時、私のお腹には2人の子どもがいました。なにを食べたいのか、どこで子どもと遊んだらよいのか不安になりました。子どもが安心してくれる社会をつくりたい。日本から原発をなくしたい。これが私の政治活動の原点です。



米国・ニューメキシコ州 サンタフェにて



留学生から帰国したら就職難民に直面。仕事がみつからず、4年間、写真のギャラリーや印刷会社のアルバイトをしながら生活していました。誰もが安心して暮らせることで、働くことができる社会を実現したいです。

留学生から帰国したら就職難民
就職氷河期世代

小林ともよの人生

